

新型コロナウイルスワクチンについて

厚生労働省は今月12日の専門家部会でアメリカの大手製薬会社ファイザーが開発した新型コロナウイルスワクチンについて承認の是非を判断する方向で最終調整に入りました。

承認された場合、接種回数は2回接種となり、対象者は当面16歳以上とし、過去にワクチンに含まれる成分でアナフィラキシーなどの重度アレルギー反応が出た人への使用は認めない方針です。ワクチンが承認されれば、政府は2月下旬から医療従事者から接種を開始できるよう準備をすすめており、医療従事者の後、高齢者、基礎疾患を有する方、それ以外の方の順に接種を進めていく見込みです。

接種費用は全額公費で無料となり、ワクチン接種で副反応による健康被害が生じた場合は予防接種法に基づく救済を受けることができます。

現在各自治体でワクチン接種体制の調整が進められています。予防接種による感染症予防効果と副反応のリスクについて十分理解した上で自らの意志で予防接種を受けるようにしましょう。